

高岡熱中寺子屋第18期参加者募集

新しい世界へ 飛び込む あなたを応援

2015年から始まった大人の学び舎「熱中中学校」プロジェクト。現在までに24地域（国内23校・海外1校）で開校した実績があり、地域に根差した新たな学びとその実践を、各地で個性的に進めています。高岡では瑞龍寺で開校したことにより「寺子屋」の愛称で運営しています。自己・企業・地域の改善に目を向け、受講者の中から起業を目指す方など、自身の視野を広げスキルアップを願う方は是非ご参加頂ければ幸いです。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



高岡熱中寺子屋は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

開催日時

2025 10.16 (THU) - 2026 3.19 (THU)

通常授業（18:00～19:30）

10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、
3月19日（毎月第3木曜）

開催場所

通常授業・特別授業 御旅屋セリオ4階 TASU

受講料

通常会員 5,000円 / 単発参加 1,000円/1日

大学生以下無料（受付にて学生証をご提示ください）

入会特典

- ① 4期～17期までの過去の授業動画をご覧頂けます
- ② 全国の熱中中学校（19校）の現地授業参加費免除
- ③ 授業後は講師と交流できる懇親会に参加可能（参加費別途）

※①②は通常会員にのみ適応 ③当日授業参加の方に適応

主催 | 高岡熱中寺子屋運営委員会 後援 | 高岡市

Tel.0766-54-5122
e-mail: necchu.terakoya01@gmail.com

協賛企業

株式会社荒木商会 アルミファクトリー株式会社 オダケホーム株式会社 金森産業株式会社
株式会社北日本新聞社 未広開発株式会社 株式会社高岡市衛生公社 高岡商工会議所 高岡信用金庫
株式会社富山銀行 伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社 株式会社北陸銀行
北陸コカ・コーラボトリング株式会社

お申込は
こちら



10.16

羽根敬喜



日本酒「羽根屋」醸造元富美菊酒造株式会社代表取締役 / 1966年富山市生まれ。平成3年千葉大学卒業後、協和発酵株式会社入社。平成6年協和発酵株式会社退社後、実家の家業富美菊酒造に入社。普通の日本酒を大量生産して、低価格で販売する旧態依然とした経営スタイルに疑問と危機感を感じ、日本酒製造における最高峰の技術である大吟醸製法で、自社の蔵内のお酒すべて大吟醸を製造するスタイルで日本酒製造を行っている。国内、国外のコンペティションでも数多くの受賞歴を誇る。JALファーストクラスラウンジやANAの国際線ビジネスクラスなどにも搭載されている。

11.20

松田智生



授業テーマ「ピンチをチャンスに変える地方創生」 / 丸の内プラチナ大学副学長、高知大学客員教授 / 食の熱中小学校 教頭 / 1966年東京生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒。専門は地域活性化、アクティブシニア論。逆参勤交代構想で地方と都市の人材循環を提唱し実践する地方創生分野の第一人者。首都圏人材との地域の熱意ある方との関係醸成に注力。著書：「明るい逆参勤交代が日本を変える」、「日本版CCRCがわかる本」。内閣官房・全世代生涯活躍のまち検討会座長代理。内閣府・高齢社会フォーラム企画委員。長崎県壱岐市政策顧問等を歴任

12.18

片桐常弥



山形県天童市出身、1991年立教大学法学部卒、同年ANA(全日本空輸)入社。大阪支店・京都支店・営業本部・パリ支店・東京支店・中国統括室(北京駐在)・販売計画室を経て、2013年4月から2025年3月まで12年間インド駐在(ムンバイ支店・デリー支店)、入社以来、一貫して営業・マーケティング畑を歩む。2025年4月からANA総合研究所・主席研究員。インド人材の日本での拡大を目指し、インド駐在時の実験をもとに、各種メディア出演や日本各地での講演等でインド人材の認知向上を目指す。

1.15

KiLa



マジシャン / 各種メディアに出演する一方、演出やマジック商品のプロデュースなども手がける。言語学・脳科学に基づいた、人間が本来持つ生理的特性を利用する事で参加者自身の身体感覚に影響を与える「AMC(アクティブメンタルコントロール)」や人間行動学・心理学に基づいた視線と意識誘導のテクニックみせるマジックショーは他と一線を画する。座右の銘は、「良薬口に苦く、忠言耳に逆らう」。合気道三段。2012年 超マジシャンズリーグ優勝、2014年 ベストクローズアップマジシャン受賞、2023年 ジャパンズゴットタレントファイナリスト 他

2.19

原ゆかり



愛媛県今治市出身。大学卒業後、外務省入省。2012年、ガーナでNGO MY DREAM.orgを設立。2015年外務省退職後、三井物産南アフリカ支店及びアフリカ企業Mara Corporationを経て、SKYAHを設立。日本企業のアフリカ事業開発支援等を行う。今治。夢スポーツ社外取締役、リンクアンドモチベーション社外取締役、ハラプレックス社外取締役、FC今治高校講師、MentorFor公式メンター、社会デザイン・ビジネスラボ理事、2022年外務省 開発協力大綱有識者懇談会委員。コロンビア大学公衆衛生学修士。

3.19

石原昇



情報経営イノベーション専門職大学客員教授(早稲田大学 総合研究機構 招聘研究員)「先端技術を活用し地域や世界の発展に貢献する」がモットー。野村総研や東大の研究員を経て、産学官の立場から、様々なプロジェクトを推進。筑波大教授の在職中には、つくば市の政策アドバイザーを兼任し、ロボットやスマートシティなどの実証プロジェクトを手掛けた。海外では世銀コンサルタントとして、アフリカのSDGsプロジェクトに関わる。技術系ベンチャー企業の社外役員や学会委員の傍ら、全国の自治体での講演も多い。